

コスト

20 万円



Q5. 無駄なコストを減らせる？

社内の業務には無駄はありませんか？専門部署がない会社では1人の社員に作業が集中することがあります。1つのモデルケースとして、社員50名の会社に勤めている「美幸商太郎」さんの月間業務を見てみましょう。

美幸さんは、ITに詳しいため、社内で利用するPC(個人デスクのPC50台、持ち歩き用10台、専用機10台)に関する管理業務を一手に引き受けています。そのため、日々の業務に加え、社内のPCに不調があった場合はメンテナンスを行います。メンテナンスには、①下調べ1時間 ②資料作成1時間 ③修理1.2時間の時間がかかっており、月間64時間もの時間と手間をPCメンテナンスに費やしています。美幸さんの年収を600万とすると、時給に換算すれば約3,000円になり、美幸さんが**作業を引き受けているこの64時間は実に20万円近くの負担コスト**となっているのです。

自分の業務
96時間

PCサポート
64時間

実は月20万円の負担に
(時給3,000円換算)

・ 調査	20時間/月
・ 管理	20時間/月
・ 作業	24時間/月